

財務の概要

■事業活動収支計算書の概要

2020（令和2）年度の法人全体の事業活動収入合計額は、1854.8百万円となりました。これは、前年実績と比較すると138.2百万円増加しています。事業活動収入額が前年と比較して増加した主な要因は、2020年度より開始された、高等教育の修学支援新制度（大学無償化）による補助金収入が増加したためです。

学生納付金は63.7百万円増加しました。これは、大学の学生数が27名増加したこと、大学の学費改定に伴う1学年分の学費差による収入増が要因です。

寄付金は2.7百万円減少しました。

補助金は18.9百万円増加しました。これは、高等教育の修学支援新制度（大学無償化）補助金73.0百万円増加、経常費等補助金54.1百万円減少が主な要因です。

付随事業収入は11.3百万円減少しました。これは、新型コロナウイルスによる学生寮前期閉寮により、寮費収入が減少したためです。

雑収入は50.6百万円増加しました。これは、退職者の増加に伴い、私立大学退職金財団からの交付金40.7百万円が増加したことが主な要因です。

一方、法人全体の事業活動支出合計額は1729.1百万円となりました。これは、前年と比較すると1022.9百万円減少しています。前年は旧キャンパス売却損830.0百万円があったこと、2020年度は新型コロナウイルスの影響により、留学をはじめ、多岐にわたる教育プログラムを実施することが出来なかったことが主な要因です。

人件費は26.4百万円減少しました。これは、教職員数の減少が主な要因です。

教育研究経費が48.6百万円減少しました。新型コロナウイルスによる各種教育プログラムや学外活動の中止、オンラインへの切替による旅費交通費減23.6百万円、業務委託費減13.7百万円、消耗品費減12.6百万円が主な要因です。

管理経費が34.5百万円減少しました。教育研究経費同様、教職員学外研修会の中止、オンラインへの切替による旅費交通費減9.1百万円、新入生募集に係るガイダンス等の中止、オンラインへの切替による業務委託費減14.6百万円、賃借料減7.7百万円が主な要因です。

経営状態の指標となる、基本金組入前当年度収支差額は125.7百万円の黒字となっています。

■資金収支計算書の概要

2020（令和2）年度の法人全体の収入の部合計額は、3345.5百万円となりました。これは、予算と比較すると422.0百万円減少しています。主な要因は、中高第2グラウンドの売却予定が解消となり、土地売却収入374.5百万円減となったためです。

法人全体の翌年度繰越支払資金は1568.6百万円と、前年度繰越支払資金1544.6百万円と比較すると、24.0百万円増加しています。

以上